

五所川原市  
学校教育系施設整備計画

2020年3月  
五所川原市

教育総務課 管財課 学校給食センター 高等看護学院

<目次>

1. 計画の目的	1
2. 本計画の位置付け	1
3. 計画期間	1
4. 対象施設	2
5. 学校教育系施設の現状	4
6. これまでの整備状況	5
7. 今後の整備方針	5
8. フォローアップの実施	13
個別票	14

## 1. 計画の目的

近年、本市を含む多くの地方公共団体においては、公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっています。また、厳しい財政状況が続く中、今後、人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されています。このことから、早急に公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって長寿命化等を計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化を図るとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要となっています。

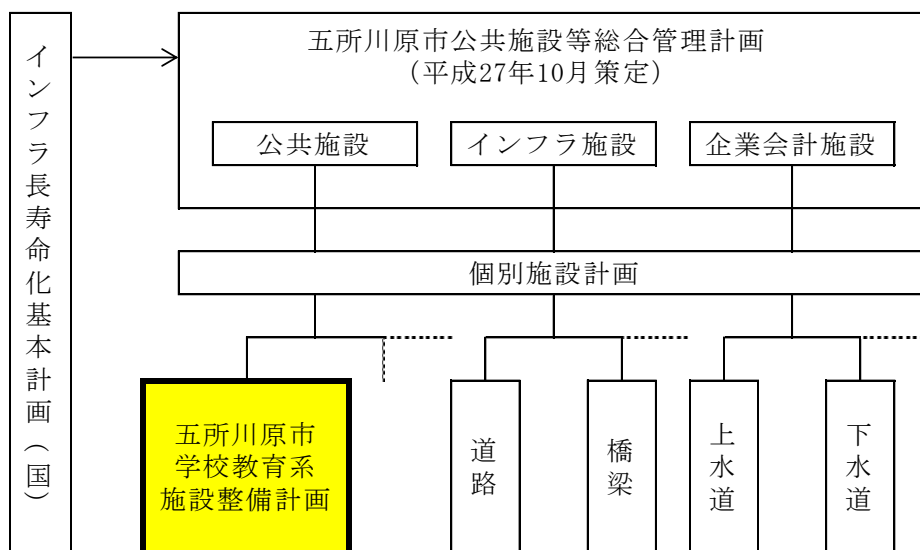
そのような中、国は2013年（平成25年）11月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、各地方公共団体においても、このような国の動きと歩調を合わせ、速やかに公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画の策定に取り組むよう要請されたところです。

これらを踏まえ、本市では2015年（平成27年）10月に「五所川原市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」といいます。）を策定し、基本的な方針を示しました。

今回策定しました「五所川原市学校教育系施設整備計画」（以下「本計画」といいます。）は、総合管理計画で示した基本的な方針を具現化するため、個別施設ごとに今後の方向性やスケジュール、方向性に伴う事業費などについて取りまとめたものであり、将来に向けて、保有する公共施設等を有効活用しつつ、施設保有量の適正化や計画的な保全による施設の長寿命化を図る取組の指針とするものです。

## 2. 本計画の位置付け

本計画は、総合管理計画に基づく実施計画である個別施設計画として位置付けます。



## 3. 計画期間

総合管理計画の計画期間は2044年度（令和26年度）までの30年間としていますが、本計画は、その第1期分として、2020年度（令和2年度）から2029年度（令和11年度）までの10年間とします。

なお、本市を取り巻く社会経済情勢の変化等により、見直しが必要な場合は適宜見直しを行っていきます。

#### 4. 対象施設

本計画での対象施設は以下のとおりです。

No.	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	老朽化率 (%)
1	五所川原小学校校舎	新宮字岡田	6,088.00	1988	68.1
	五所川原小学校体育館		1,344.00	1990	88.2
	五所川原小学校プール附属室		76.00	1990	136.4
	五所川原小学校物置小屋		35.00	1996	70.6
2	南小学校校舎	蓮沼	4,673.00	1990	63.8
	南小学校体育館		1,284.00	1992	82.4
	南小学校プール附属室		65.00	1992	127.3
3	栄小学校校舎	姥菴字船橋	6,345.00	1981	83.0
	栄小学校体育館		1,365.00	1986	100.0
	栄小学校プール附属室		48.00	1980	105.3
	栄小学校物置小屋		62.00	1989	206.7
4	三輪小学校校舎	七ツ館字虫流	3,885.00	2001	40.4
	三輪小学校体育館		1,244.00	2002	38.3
	三輪小学校地域学校連携施設		390.00	2001	70.4
	三輪小学校食堂		281.00	2001	76.0
5	三好小学校校舎	鶴ヶ岡字唐橋	2,338.00	1992	127.3
	三好小学校体育館		1,085.00	1993	57.4
	三好小学校プール附属室・機械室		60.00	1982	172.7
6	東峰小学校校舎	神山字山越	2,529.00	1993	57.4
	東峰小学校体育館		1,121.00	1994	76.5
	東峰小学校プール附属室		64.00	1995	113.6
	東峰小学校物置小屋		14.00	1996	70.6
7	松島小学校校舎	米田字八ツ橋	2,642.00	1996	51.1
	松島小学校体育館		1,130.00	1997	67.6
	松島小学校プール附属室		49.00	1986	154.5
8	中央小学校校舎	松島町二丁目	5,497.00	2013	14.9
	中央小学校体育館		1,333.00	2013	14.9
9	いずみ小学校校舎	飯詰字石田	2,398.00	1994	55.3
	いずみ小学校体育館		1,117.00	1995	53.2
	いずみ小学校食堂		215.00	1995	53.2
10	金木小学校校舎	金木町芦野	5,399.00	1979	87.2
	金木小学校体育館		1,200.00	1980	85.1
	金木小学校第二体育館		363.00	1980	85.1
	金木小学校給食室		200.00	1980	97.6
	金木小学校倉庫		76.00	1979	273.3
11	市浦小学校校舎	相内岩井	1,898.00	1990	63.8
	市浦小学校体育館		809.00	1990	111.1
	市浦小学校給食室・食堂		257.00	1990	150.0
12	五所川原第一中学校校舎	松島町三丁目	7,991.00	2007	27.7
	五所川原第一中学校体育館		2,512.00	2010	21.3

No.	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	老朽化率 (%)
13	五所川原第二中学校校舎 (北棟)	羽野木沢字隈	2,061.00	1995	53.2
	五所川原第二中学校校舎 (南棟)	無	1,192.00	1978	190.9
	五所川原第二中学校体育館		578.00	1978	123.5
	五所川原第二中学校倉庫		60.00	1995	166.7
	五所川原市第二中学校焼却炉室		20.00	1995	73.5
14	五所川原第三中学校校舎 (特別教室棟)	広田字藤浦	793.00	1972	102.1
	五所川原第三中学校校舎 (特別教室棟以外)		3,914.00	1987	70.2
	五所川原第三中学校体育館		1,336.00	1989	66.0
	五所川原第三中学校プール付属室		16.00	1974	135.3
	五所川原第三中学校物置小屋		39.00	1990	200.0
15	五所川原第四中学校校舎	沖飯詰字男鹿	3,568.00	1983	78.7
	五所川原第四中学校体育館		1,200.00	1983	108.8
	五所川原第四中学校プール付属室		15.00	1984	163.6
	五所川原第四中学校物置小屋		33.00	1985	74.5
16	金木中学校校舎	金木町芦野	4,266.00	1986	72.3
	金木中学校体育館		1,240.00	1986	100.0
	金木中学校柔剣道場		350.00	1988	145.5
	金木中学校物置小屋		115.00	1986	154.5
17	市浦中学校校舎	相内岩井	2,806.00	1970	106.4
	市浦中学校体育館		925.00	1971	104.3
	市浦中学校給食室		93.00	1990	150.0
18	学校給食センター	金山字竹崎	4,306.00	2016	12.9
19	高等看護学院	新町	2,554.25	1991	58.0
20	旧金木高等学校市浦分校	磯松赤川	1,674.00	1972	102.1
	旧金木高等学校市浦分校プール付属室		39.00	1978	123.5
21	旧嘉瀬小学校校舎	金木町嘉瀬端	2,676.00	1972	102.1
	旧嘉瀬小学校体育館	山崎	673.00	1973	138.2
	旧嘉瀬小学校プール付属室		41.00	1974	209.1
	旧嘉瀬小学校物置小屋		13.00	1974	209.1
22	旧東小学校校舎	高野字広野	1,209.00	1970	106.4
	旧東小学校体育館		384.00	1970	106.4
	旧東小学校プール付属室		54.00	1988	145.4
	旧東小学校物置小屋		46.00	1971	222.7
23	旧五所川原第二中学校校舎	豊成字田子ノ	3,050.00	1973	100.0
	旧五所川原第二中学校体育館	浦	825.00	1974	135.2
	旧五所川原第二中学校プール付属室		43.00	1979	186.3
	旧五所川原第二中学校物置小屋		121.00	1975	204.5
合 計			111,810.25		

※老朽化率は、経過年数を耐用年数で割った値 (令和2年4月1日時点)

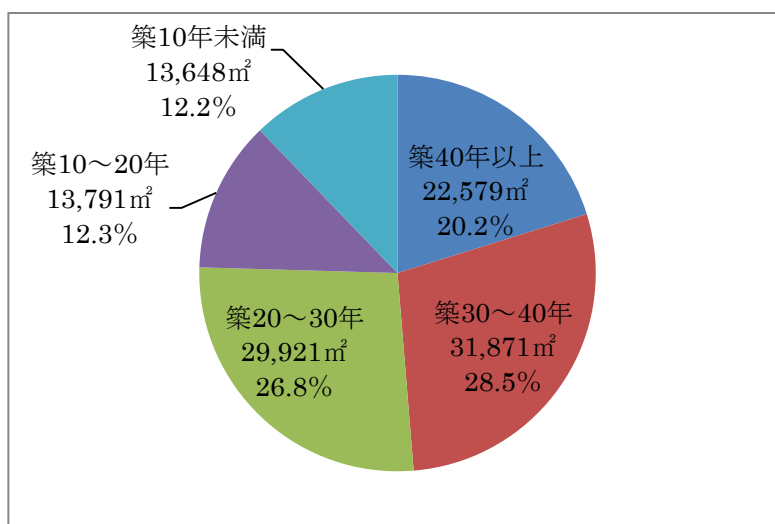
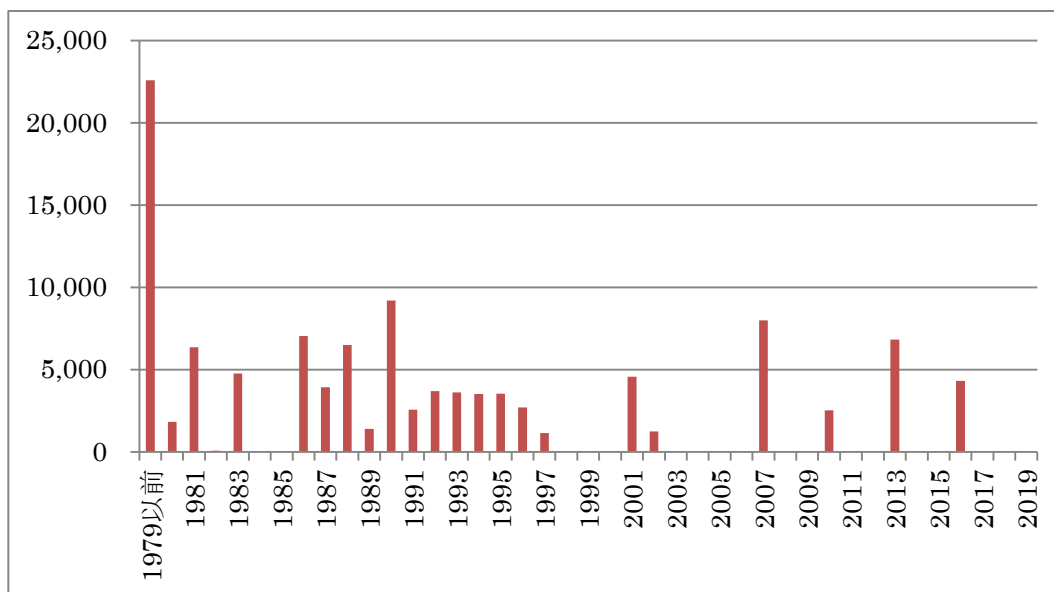
## 5. 学校教育系施設の現状

本市の学校教育系施設は23施設です。五所川原地域に17施設、金木地域に3施設、市浦地域に3施設が配置されています。多くが1979年（昭和54年）から1997年（平成9年）にかけて建築されました。総延床面積は111,810.25㎡で、建築後の経過年数別でみると築40年以上が22,579㎡(20.2%)、築30年から40年が31,871㎡(28.5%)、築20年から30年が29,921.25㎡(26.8%)、築10年から20年が13,791㎡(12.3%)、築10年未満が13,648㎡(12.2%)、となっています。

これまでの施設の整備は、公立小学校・中学校（以下、「小中学校」といいます。）を例に説明すると、築20年から30年をめどに大規模改修を、築40年をめどに更新を実施してきました。前述のとおり築20年以上経過する施設が75.5%と高い割合を占めており、多くの施設が大規模改修や更新の時期を迎えています。このまま更新中心の整備を継続した場合の今後30年の施設維持コストは、過去5年間の年平均が5.7億円であったものが、年平均12.5億円まで拡大し約2.2倍となる見込みです。

このような現状からも、今後、財政状況がより一層の厳しさを増すことが予測されるなか、これまでのような更新中心の整備を継続することは非常に困難です。

建築年別の延床面積（㎡・年）



## 6. これまでの整備状況

最近の主な整備・改修状況は以下のとおりです。(総事業費が 10,000 千円以上の主な事業)

事業名	中央小学校建設事業
事業年度	2010 年度 (H22 年度) から 2014 年度 (H26 年度)
事業内容	旧中央小学校の耐震基準が基準以下のため旧校舎を除却の上新設 (現地建替え)
総事業費	2,307,537 千円 (財源: 国庫 854,030 千円、地方債 1,230,400 千円、一般財源 223,107 千円)

事業名	金木中学校大規模改造事業
事業年度	2013 年度 (H25 年度) から 2014 年度 (H26 年度)
事業内容	老朽化した校舎、屋内運動場等について、長寿命化を図るための大規模改修
総事業費	201,098 千円 (財源: 国庫 59,832 千円、地方債 138,400 千円、一般財源 2,866 千円)

事業名	学校給食センター建設事業
事業年度	2013 年度 (H25 年度) から 2016 年度 (H28 年度)
事業内容	旧学校給食センター建設から 44 年を経過して経年劣化が著しいため「学校給食衛生管理基準」に基づき新学校給食センターを整備 (非現地建替え)
総事業費	3,196,568 千円 (財源: 国庫 214,649 千円、地方債 2,831,800 千円、一般財源 150,119 千円)

事業名	栄小学校大規模改造事業
事業年度	2014 年度 (H26 年度) から 2016 年度 (H28 年度)
事業内容	老朽化した校舎、屋内運動場について、長寿命化を図るため、屋根、外壁、洋式トイレ化等の大規模改修
総事業費	281,495 千円 (財源: 国庫 87,891 千円、地方債 189,900 千円、一般財源 3,704 千円)

## 7. 今後の整備方針

### (1) 適正配置・適正規模の考え方

#### ① 公立小学校・中学校

小中学校は、少子化による児童生徒数の減少や施設の老朽化等を勘案し、これまでも多くの学校で統廃合等を行ってきました。今後も児童生徒数が一層減少することが予測されるなか、限られた財源の中で老朽化が進む施設の適正管理を実施するためには、学校規模の適正化及び学校の適正配置について検討しながら、施設の計画的かつ効率的な維持管理を図っていきます。

#### ② 小中学校以外の学校教育系施設

学校給食センターは、学校給食法に基づき児童生徒の心身の健全な発達に資する給食を供給することはもとより、施設見学の受け入れを実施する等、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う教育的観点からも重要な施設です。五所川原地域から金木地域までの小中学校 15 校へ約 3,700 食の給食を供給しており、当該センターの供給可能食数の 4,500 食に対して供給率は約 82%となっていることから、適正規模であるといえます。

また、5 年後の児童生徒数 (推計) でみた場合も約 3,300 食の供給が見込まれ、供給可能食数に対して約 73%となっており、概ね適正規模であるといえます。

高等看護学院については、保健師助産師看護師法の基準に基づいた西北五圏域唯一の看護師養成施設であり、地域医療を支える人材を育成する教育機関であることから、医療体制を維持

する上で必要であるため、施設の計画的かつ効率的な維持管理を図っていきます。

## (2) 優先順位の考え方

### ①公立小学校・中学校

主に次の2点を総合的に評価し優先順位を決定します。

- ・建物性能（個別票「2. 施設の現況」(1)品質面（建物性能）に記載されている数値）  
※評価基準はP37【表1】のとおり。
- ・建築基準法第12条第1項及び第2項の規定に基づく調査及び点検の結果（以下「法定点検」）

### ②小中学校以外の学校教育系施設

「①公立小学校・中学校」で記した評価基準に加え、児童生徒数や給食供給数等の稼働状況や費用対効果等により総合的に判断します。

また、高等看護学院についても、学生数の状況により総合的に判断いたします。

## (3) ユニバーサルデザイン化の推進

「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の推進に関する法律」（バリアフリー法）や「ユニバーサルデザイン2020行動計画」に基づき、全ての人にやさしいユニバーサル社会を構築するため、高齢者、障害者に留まらず、誰もが利用しやすい公共施設のユニバーサルデザイン化を推進します。今後、更新や改修を行う際は、ニーズを踏まえ、ユニバーサルデザインを考慮し実施していきます。

## (4) 施設の管理方針

### ①公立小学校・中学校

小中学校は、義務教育を実施する極めて重要な施設であるため直営での管理が基本となりますが、施設の管理の一部には、民間企業のノウハウの導入により効率化が図られる場合も考えられます。したがって、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」に基づくPFIの実施等も検討していきます。

### ②小中学校以外の学校教育系施設

学校給食センターは、現在直接管理運営を行っていますが、施設を効率的に運営することを考慮し、調理部門の委託等を検討していきます。

また、高等看護学院につきましては、引き続き施設を効率的に管理していきます。

## (5) 整備方針

4ページ「5. 学校教育系施設の現状」に記したとおり、これまで築20年から30年を目途に大規模改修を、築40年を目途に更新を実施するという考え方では、全ての施設の老朽化を解消することは困難です。（社）日本建築学会発行（昭和63年）「建築物の耐久計画に関する考え方」による目標耐用年数を引用すると、鉄筋コンクリート造（RC造）、鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC造）、鉄骨造（S造）の建物は計画的な保全を実施すれば、RC造、SRC造は約80年、S造は約50年、長持ちさせることができるとされています。このことから、今後は、築40年を目途にコンクリート中性化対策、鉄筋の腐食対策等建物機能を向上させる長寿命化改修を実施し、その後、建築後約80年で更新を実施する手法に転換します。また、大規模改修及び長寿命化改修以外にも、長寿命化改修の実施は計画的な保全が前提になっていることを考慮して、これまで以上に法定検査等による施設躯体や各種設備の状況把握に努め、必要に応じて一部改修を実施していきます。



大規模改修や長寿命化改修、一部改修の際には、施設の防災機能の向上や照明・空調設備の省エネルギー化を図ります。また、分類の違う目的の施設との複合化も検討していきます。

①今後 10 年の整備方針

No.	施設名称	方向性	行動計画	管理方法	説明
1	五所川原小学校	存続	大規模改修及び一部改修	直営	屋根、外壁、内壁、内部床等の改修の他、給排水、暖房等の設備について大規模改修を実施します。 また、和式トイレの洋式化による一部改修、危険な遊具の撤去・更新、自家用電気工作物の更新、PCB 廃棄物含コンデンサ等の取替を実施します。
2	南小学校	存続	一部改修	直営	和式トイレの洋式化による一部改修、危険な遊具の撤去・更新、自家用電気工作物の更新、PCB 廃棄物含コンデンサ等の取替を実施します。
3	栄小学校	存続	一部改修	直営	和式トイレの洋式化による一部改修、自家用電気工作物の更新を実施します。
4	三輪小学校	存続	一部改修	直営	和式トイレの洋式化による一部改修、危険な遊具の撤去、自家用電気工作物の更新を実施します。
5	三好小学校	存続	一部改修	直営	和式トイレの洋式化による一部改修、危険な遊具の修繕、自家用電気工作物の更新を実施します。
6	東峰小学校	存続	一部改修	直営	和式トイレの洋式化による一部改修、危険な遊具の撤去・更新、自家用電気工作物の更新を実施します。
7	松島小学校	存続	一部改修	直営	和式トイレの洋式化による一部改修、危険な遊具の修繕・更新、自家用電気工作物の更新を実施します。
8	中央小学校	存続	現状維持	直営	現在の建物を維持します。

No.	施設名称	方向性	行動計画	管理方法	説明
9	いずみ小学校	存続	一部改修	直営	和式トイレの洋式化による一部改修、危険な遊具の撤去・修繕、自家用電気工作物の更新を実施します。
10	金木小学校	存続	大規模改修及び一部改修	直営	屋根、外壁、内壁、内部床等の改修の他、給排水、暖房等の設備、和式トイレの洋式化について大規模改修を実施します。 また、危険な遊具の撤去・更新を実施します。
11	市浦小学校	存続	一部改修	直営	和式トイレの洋式化による一部改修、危険な遊具の撤去・更新、自家用電気工作物の更新、PCB 廃棄物含コンデンサ等の取替を実施します。
12	五所川原第一中学校	存続	現状維持	直営	現在の建物を維持します。
13	五所川原第二中学校	存続	一部改修	直営	和式トイレの洋式化による一部改修、自家用電気工作物の更新を実施します。
14	五所川原第三中学校	存続	大規模改修及び一部改修	直営	屋根、外壁、内壁、内部床等の改修の他、給排水、暖房等の設備について大規模改修を実施します。 また、自家用電気工作物の更新、PCB 廃棄物含コンデンサ等の取替を実施します。
15	五所川原第四中学校	存続	一部改修	直営	和式トイレを洋式化による一部改修、自家用電気工作物の更新、PCB 廃棄物含コンデンサ等の取替を実施します。
16	金木中学校	存続	一部改修	直営	和式トイレの洋式化による一部改修、自家用電気工作物の更新、PCB 廃棄物含コンデンサ等の取替を実施します。

No.	施設名称	方向性	行動計画	管理方法	説明
17	市浦中学校	存続	一部改修	直営	和式トイレの洋式化による一部改修、自家用電気工作物の更新、PCB 廃棄物含コンデンサ等の取替を実施します。
18	学校給食センター	存続	現状維持	直営	現在の建物を維持します。
19	高等看護学院	存続	現状維持	直営	現在の建物を維持します。
20	旧金木高等学校市浦分校	廃止	除却	—	旧耐震基準の建物のため除却します。
21	旧嘉瀬小学校	存続	現状維持	直営	現在の建物を維持します。
22	旧東小学校	存続	現状維持	直営	現在の建物を維持します。
23	旧五所川原第二中学校	存続	現状維持	直営	現在の建物を維持します。

※施設の方向性等の説明

方向性	行動計画	説明
存続	現状維持	現状のまま維持（小破修繕を含む。）
	大規模改修	建物機能の現状回復を目的とした予防保全的な改修
	長寿命化改修	建物機能を向上させ、より長期的に施設の活用を図る改修
	一部改修	施設躯体や設備などの一部を改修
	複合機能化	分類の違う目的の施設の機能を取り入れる
	集約化	同じ目的の複数の施設を一つに集約
	広域化	他自治体と共用
	更新	老朽化等のため建物を更新（非現地建替えを含む。）
廃止	転用	施設機能を廃止し他の用途へ転用
	民間委譲	民間事業者等へ譲渡（売却を含む。）
	除却	施設を解体撤去、又は解体時期を検討

※施設の管理方法の説明

管理方法		説明
直営		市の直営 （個別の業務ごとに私法上の契約で委託する方式を含む。）
民間委託	指定管理	指定管理者による管理運営方式
	包括的民間委託	複数の業務や施設を包括的に委託する方式
	P F I など	公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う方式

②改修等の今後のスケジュール

No.	施設名称	今後のスケジュール										
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	
1	五所川原小学校	遊具 PCB トイレ		遊具	電気			大規模改修				
2	南小学校	遊具 電気	電気 PCB	遊具 トイレ								
3	栄小学校	電気	トイレ									
4	三輪小学校			遊具 電気 トイレ								
5	三好小学校		遊具 電気	電気	トイレ							
6	東峰小学校		電気	遊具 電気 トイレ								
7	松島小学校	電気	遊具 トイレ		電気							
9	いずみ小学校	遊具 トイレ		遊具 電気	電気							
10	金木小学校	大規模改修 (トイレ改修含む)										
			遊具	遊具								
11	市浦小学校		電気 PCB	遊具	トイレ							
13	五所川原第二中学校	電気	電気			トイレ						
14	五所川原第三中学校	電気	PCB		大規模改修 (トイレ改修含む)							
					電気							
15	五所川原第四中学校	電気 PCB		電気			トイレ					
16	金木中学校	電気	電気 PCB				トイレ					
17	市浦中学校	電気 PCB	電気		電気	トイレ						
20	旧金木高等学校市浦分校	除却										

③改修等の事業費及び財源

No.	施設名称	事業年度(年度)	事業費(千円)	事業費内訳(千円)	財源(千円)
1	五所川原小学校	2020	16,850	遊具(757) PCB(259) 設計監理(3,000) トイレ改修(12,834)	国庫(3,998) 地方債(11,800) 一般財源(1,052)
		2022	462	遊具(462)	一般財源(462)
		2023	2,444	電気工作物(2,444)	一般財源(2,444)
		2026	4,000	実施設計(4,000)	地方債(4,000)
		2027	355,685	大規模改修(350,285) 工事監理(5,000) 設計意図伝達(400)	国庫(119,894) 地方債(235,700) 一般財源(91)
		2028	238,923	大規模改修(233,523) 工事監理(5,000) 設計意図伝達(400)	国庫(79,640) 地方債(159,200) 一般財源(83)
2	南小学校	2020	1,063	遊具(757) 電気工作物(306)	一般財源(1,063)
		2021	1,094	電気工作物(835) PCB(259)	一般財源(1,094)
		2022	7,771	遊具(104) 設計監理(3,000) トイレ改修(4,667)	国庫(2,110) 地方債(5,500) 一般財源(161)
3	栄小学校	2020	1,507	電気工作物(1,507)	一般財源(1,507)
		2021	14,667	設計監理(3,000) トイレ改修(11,667)	国庫(3,665) 地方債(11,000) 一般財源(2)
4	三輪小学校	2022	9,633	遊具(104) 電気工作物(306) 設計監理(3,000) トイレ改修(6,223)	国庫(1,888) 地方債(7,300) 一般財源(445)
5	三好小学校	2021	665	遊具(359) 電気工作物(306)	一般財源(665)
		2022	835	電気工作物(835)	一般財源(835)
		2023	6,501	設計監理(3,000) トイレ改修(3,501)	地方債(6,500) 一般財源(1)
6	東峰小学校	2021	306	電気工作物(306)	一般財源(306)
		2022	10,140	遊具(860) 電気工作物(835) 設計監理(3,000) トイレ改修(5,445)	国庫(1,776) 地方債(6,600) 一般財源(1,764)
7	松島小学校	2020	978	電気工作物(978)	一般財源(978)
		2021	8,813	遊具(757) 設計監理(3,000) トイレ改修(5,056)	国庫(1,665) 地方債(6,300) 一般財源(848)
		2023	835	電気工作物(835)	一般財源(835)

No.	施設名称	事業年度(年度)	事業費(千円)	事業費内訳(千円)	財源(千円)
9	いずみ小学校	2020	8,415	遊具(359) 設計監理(3,000) トイレ改修(5,056)	国庫(1,665) 地方債(6,300) 一般財源(450)
		2022	410	遊具(104) 電気工作物(306)	一般財源(410)
		2023	835	電気工作物(835)	一般財源(835)
10	金木小学校	2020	4,000	実施設計(4,000)	地方債(4,000)
		2021	342,260	大規模改修(336,000) 工事監理(5,000) 設計意図伝達(400) 遊具(860)	国庫(115,133) 地方債(226,200) 一般財源(927)
		2022	229,960	大規模改修(224,456) 工事監理(5,000) 設計意図伝達(400) 遊具(104)	国庫(76,618) 地方債(153,200) 一般財源(142)
11	市浦小学校	2021	1,237	電気工作物(978) PCB(259)	一般財源(1,237)
		2022	204	遊具(204)	一般財源(204)
		2023	6,112	設計監理(3,000) トイレ改修(3,112)	地方債(6,100) 一般財源(12)
13	五所川原第二中学校	2020	306	電気工作物(306)	一般財源(306)
		2021	835	電気工作物(835)	一般財源(835)
		2024	4,945	設計監理(3,000) トイレ改修(1,945)	地方債(4,900) 一般財源(45)
14	五所川原第三中学校	2020	306	電気工作物(306)	一般財源(306)
		2021	259	PCB(259)	一般財源(259)
		2023	4,672	実施設計(4,000) 電気工作物(672)	地方債(4,000) 一般財源(672)
		2024	289,052	大規模改修(283,652) 工事監理(5,000) 設計意図伝達(400)	国庫(97,683) 地方債(191,300) 一般財源(69)
		2025	194,501	大規模改修(189,101) 工事監理(5,000) 設計意図伝達(400)	国庫(64,833) 地方債(129,600) 一般財源(68)
15	五所川原第四中学校	2020	591	電気工作物(306) PCB(285)	一般財源(591)
		2022	2,444	電気工作物(2,444)	一般財源(2,444)
		2025	8,834	設計監理(3,000) トイレ改修(5,834)	国庫(1,887) 地方債(6,900) 一般財源(47)

No.	施設名称	事業年度 (年度)	事業費 (千円)	事業費内訳 (千円)	財源 (千円)
16	金木中学校	2020	306	電気工作物 (306)	一般財源 (306)
		2021	1,160	電気工作物 (835) PCB (325)	一般財源 (1,160)
		2025	6,501	設計監理 (3,000) トイレ改修 (3,501)	地方債 (6,500) 一般財源 (1)
17	市浦中学校	2020	447	電気工作物 (162) PCB (285)	一般財源 (447)
		2021	835	電気工作物 (835)	一般財源 (835)
		2023	2,444	電気工作物 (2,444)	一般財源 (2,444)
		2024	8,445	設計監理 (3,000) トイレ改修 (5,445)	国庫 (1,666) 地方債 (6,700) 一般財源 (79)
20	旧金木高等学校市浦分校	2020	1,395	解体設計 (1,395)	地方債 (1,300) 一般財源 (95)
		2021	77,174	解体工事 (75,500) 解体工事監理 (1,674)	地方債 (77,100) 一般財源 (74)

※事業費等は、調査・設計の結果を受けて変動する場合があります。

#### ④10年後（2029年度）の施設状況比較

総延床面積 (㎡)		維持管理コスト (千円)	
現在	2029年度	現在※	2029年度
111,810.25	110,097.25	460,447	422,262

※2015年度から2017年度までの3か年平均

※学校給食センターについては、2017年度より新センターが本格稼働したため、2017年度を維持管理コストとしました。

## 8. フォローアップの実施

本計画を着実に推進していくため、PDCAサイクル（Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善））に基づき、計画の評価・見直しを行いながら実施していきます。

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	五所川原小学校	総延床面積 (㎡)	7,543.00
所在地	五所川原市大字新宮字岡田 137 番地 1	代表建築年 (年)	1988
構成施設	校舎、体育館、プール付属室、物置小屋		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	24	10	4	2	60
体育館	20	16	8	4	2	50
プール付属室	20	8	6	4	2	40
物置小屋	20	24	6	4	2	56

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
359	350	314	236

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
16,573	20,622	15,217	17,471

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
0	0	0	0

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	大規模改修	管理方法	直営
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>廊下の雨漏り、窓枠サッシの腐食による窓の開閉や施錠等に不具合が生じており、大規模改修及び一部改修が必要な時期になっています。指定避難所及び指定緊急避難場所に指定されています。</p> <p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>屋根、外壁、内壁、内部床等のほか、給排水、暖房等の設備についても大規模改修を検討します。また、トイレの洋式化などその他個別の課題について優先度を勘案しながら適宜対応し、現状維持に努めます。</p>					



所管課	教育総務課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	南小学校	総延床面積 (㎡)	6,022.00
所在地	五所川原市字蓮沼 14 番地 1	代表建築年 (年)	1990
構成施設	校舎、体育館、プール付属室		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	24	10	4	2	60
体育館	20	16	10	4	2	52
プール付属室	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
268	266	242	180

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
14,098	18,247	16,858	16,401

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
15	15	15	15

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>教室の床材の摩耗により汚損が激しくトイレの悪臭もあるため、適宜修繕が必要となっています。指定避難所及び指定緊急避難場所に指定されています。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>トイレの洋式化などその他の個別の課題について優先度を勘案しながら適宜対応し、現状維持に努めます。</p>					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	栄小学校	総延床面積 (㎡)	7,820.00
所在地	五所川原市大字姥菟字船橋 154 番地 7	代表建築年 (年)	1981
構成施設	校舎、体育館、プール付属室、物置小屋		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	16	10	16	2	64
体育館	20	8	8	16	2	54
プール付属室	4	8	6	4	2	24
物置小屋	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
428	421	413	295

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
21,900	20,424	20,885	21,070

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
3	3	3	3

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>2015 年度 (平成 27 年度) から 2016 年度 (平成 28 年度) に校舎及び体育館の大規模改修を実施しましたが、配管系統など更新未実施の部分があります。また、グラウンドの水はけが悪く、授業に支障を来すなどの課題があります。指定避難所及び指定緊急避難場所に指定されています。</p> <p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>大規模改修を実施し施設の機能回復が図られたことで教育環境が改善されましたが、トイレの洋式化などその他の課題については規模や優先度等を勘案しながら適宜対応し、現状維持に努めます。</p>					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	三輪小学校	総延床面積 (㎡)	5,800.00
所在地	五所川原市大字七ツ館字虫流 6 番地 5	代表建築年 (年)	2001
構成施設	校舎、体育館、地域学校連携施設、食堂		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	32	10	4	6	72
体育館	20	32	10	4	2	68
地域学校連携施設	20	24	8	4	2	58
食堂	20	16	8	4	2	50

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
223	219	209	151

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
15,560	17,071	17,390	16,674

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
0	0	0	0

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
【施設の状況及び課題】 建物性能は比較的高く、大きな問題は生じていませんが、電源キュービクル設備機器については更新が必要です。指定避難所及び指定緊急避難場所に指定されています。					
【基本的な方針の考え方】 トイレの洋式化など個別の課題について優先度を勘案しながら適宜対応し、現状維持に努めます。					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	三好小学校	総延床面積 (㎡)	3,483.00
所在地	五所川原市大字鶴ヶ岡字唐橋 21 番地 7	代表建築年 (年)	1992
構成施設	校舎、体育館、プール付属室・機械室		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	8	10	4	2	44
体育館	20	24	10	4	2	60
プール付属室・機械室	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
56	51	53	41

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
7,700	10,381	10,458	9,517

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
0	0	0	0

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>校舎前の敷地が砂利敷のため底からの除雪作業ができず、冬期の登下校・給食搬入等に支障が出る場合があります。指定避難所及び指定緊急避難場所に指定されています。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>トイレの洋式化など個別の課題について優先度を勘案しながら適宜対応し、現状維持に努めますが、児童数減少が進んでいるため、学校規模の適正化についても検討します。</p>					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	東峰小学校	総延床面積 (㎡)	3,728.00
所在地	五所川原市大字神山字山越1番地26	代表建築年 (年)	1993
構成施設	校舎、体育館、プール付属室、物置小屋		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は100点満点 (表1参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	24	10	4	2	60
体育館	20	16	10	4	2	52
プール付属室	20	8	6	4	2	40
物置小屋	20	24	6	4	2	56

(2) 供給面 (児童数: 各年度5月1日現在) (単位: 人)

過去3か年			将来推計
2015年度	2016年度	2017年度	2029年度
137	129	120	89

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去3か年			将来推計
2015年度	2016年度	2017年度	2029年度
11,188	12,961	14,376	12,842

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去3か年			将来推計
2015年度	2016年度	2017年度	2029年度
0	0	0	0

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>建物性能は高く、老朽化もそれほど進んでいません。ただし、屋根をコーティングしている防水膜が劣化し剥離が目立っており、漏水被害が発生する前に一部改修を検討する必要があります。指定避難所及び指定緊急避難場所に指定されています。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>トイレの洋式化など個別の課題について優先度を勘案しながら適宜対応し、現状維持に努めます。</p>					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	松島小学校	総延床面積 (㎡)	3,821.00
所在地	五所川原市大字米田字八ツ橋 16 番地 7	代表建築年 (年)	1996
構成施設	校舎、体育館、プール付属室		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	24	10	4	4	62
体育館	20	24	10	4	4	62
プール付属室	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
136	118	108	84

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
10,500	10,855	10,495	10,617

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
16	16	16	16

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>建物性能は高く老朽化もそれほど進んでいません。ただし、雨漏りやプールの老朽化の課題があります。指定避難所及び指定緊急避難場所に指定されています。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>トイレの洋式化など個別の課題について優先度を勘案しながら適宜対応し、現状維持に努めます。</p>					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	中央小学校	総延床面積 (㎡)	6,830.00
所在地	五所川原市松島町二丁目 94 番地	代表建築年 (年)	2013
構成施設	校舎、体育館		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	40	10	20	10	100
体育館	20	40	10	20	10	100

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
344	336	320	229

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
16,226	17,043	15,539	16,269

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
15	15	15	13

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	直営
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>建築後の経過年数が浅いため建物性能が高く、構造上の課題はありませんが、教室に余裕がないことから特別支援教室や放課後児童クラブ用のスペースの確保が課題となっています。指定避難所及び指定緊急避難場所に指定されています。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>長期的に存続させるため、施設を適切に管理し現状維持に努めます。</p>					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	いずみ小学校	総延床面積 (㎡)	3,730.00
所在地	五所川原市大字飯詰字石田 171 番地 1	代表建築年 (年)	1994
構成施設	校舎、体育館、食堂		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	24	10	4	4	62
体育館	20	24	10	4	4	62
食堂	20	24	10	4	4	62

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
154	155	150	123

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
9,732	11,140	11,765	10,879

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
18	18	18	18

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
<p><b>【施設の状況及び課題】</b></p> <p>児童数減少により余剰スペースが増加しています。建物性能は高く、老朽化もそれほど進んではいません。ただし、屋根については塗替えが行われていないため劣化が進んでいます。指定避難所及び指定緊急避難場所に指定されています。</p>					
<p><b>【基本的な方針の考え方】</b></p> <p>トイレの洋式化など個別の課題について優先度を勘案しながら適宜対応し、現状維持に努めます。</p>					



所管課	教育総務課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	金木小学校	総延床面積 (㎡)	7,238.00
所在地	五所川原市金木町芦野 84 番地 54	代表建築年 (年)	1979
構成施設	校舎、体育館、第二体育館、給食室、倉庫		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	16	16	10	4	2	48
体育館	16	16	10	4	2	48
第二体育館	16	16	10	4	2	48
給食室	16	16	10	4	2	48
倉庫	4	8	6	4	2	24

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
309	277	260	245

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
17,443	23,183	19,290	19,972

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
46	46	46	46

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	大規模改修	管理方法	直営
<p><b>【施設の状況及び課題】</b> 金木地区にある唯一の小学校ですが、2019 年で築 40 年が経過し、躯体のひび割れや雨漏りが発生しています。また、配管設備が劣化していることや集中方式の古い暖房設備のため室温管理が適切に実施できない状況にあります。指定避難所及び指定緊急避難場所に指定されています。</p> <p><b>【基本的な方針の考え方】</b> 老朽化が相当進んでいるため、屋根、外壁、内壁、内部床等のほか、給排水、暖房等の設備、トイレの洋式化について大規模改修による機能回復に努めます。</p>					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	市浦小学校	総延床面積 (㎡)	2,964.00
所在地	五所川原市相内岩井 85 番地	代表建築年 (年)	1990
構成施設	校舎、体育館、給食室・食堂		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	24	10	4	2	60
体育館	20	8	8	4	2	42
給食室・食堂	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (児童数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
89	77	65	59

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
10,802	11,592	12,335	11,576

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
0	0	0	0

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
<p><b>【施設の状況及び課題】</b></p> <p>市浦地区にある唯一の小学校ですが、児童数減少により複式化が進んでいます。建物性能が低めであり、屋根や外壁の腐食が進んでおり、雨漏りが発生しています。指定避難所及び指定緊急避難場所に指定されています。</p>					
<p><b>【基本的な方針の考え方】</b></p> <p>トイレの洋式化など個別の課題について優先度を勘案しながら適宜対応し、現状維持に努めますが、児童数減少が進んでいるため、学校規模の適正化についても検討します。</p>					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	五所川原第一中学校	総延床面積 (㎡)	10,503.00
所在地	五所川原市松島町三丁目1番地	代表建築年 (年)	2007
構成施設	校舎、体育館		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	32	10	20	10	92
体育館	20	40	10	20	2	92

(2) 供給面 (生徒数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
752	742	709	404

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
32,493	29,377	31,325	31,065

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
31	31	31	39

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	直営
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>建築年数が浅いため建物性能が高く、構造上は問題ありません。ただし、グラウンドの土が硬く凹凸が激しいため、授業等の活動に支障が出ており、また、砂塵が舞い上がりやすく飛散して近隣住民等に被害を与えることがあります。指定避難所及び指定緊急避難場所に指定されています。</p> <p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>個別の課題が発生した際には優先度等を勘案して適宜対応し、現状維持に努めます。</p>					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	五所川原第二中学校	総延床面積 (㎡)	3,911.00
所在地	五所川原市大字羽野木沢字隈無 179 番地 2	代表建築年 (年)	1995
構成施設	校舎 (北棟)、校舎 (南棟)、体育館、倉庫、焼却炉室		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎 (北棟)	20	24	10	4	2	60
校舎 (南棟)	4	8	6	4	2	24
体育館	16	8	8	16	2	50
倉庫	20	8	6	4	2	40
焼却炉室	20	24	6	4	2	56

(2) 供給面 (生徒数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
86	75	85	51

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
11,629	13,781	13,942	13,117

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
12	12	12	12

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>主体校舎以外の建物性能が低い状況にあります。主体校舎外壁のモルタルが劣化して、ひび割れ落下してケガをさせるおそれがあり、また体育館では雨漏りが発生しています。指定避難所及び指定緊急避難場所に指定されています。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>トイレの洋式化など個別の課題について優先度を勘案しながら適宜対応し、現状維持に努めます。</p>					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	五所川原第三中学校	総延床面積 (㎡)	6,098.00
所在地	五所川原市大字広田字藤浦 105 番地 1	代表建築年 (年)	1987
構成施設	校舎 (特別教室棟)、校舎 (特別教室棟以外)、体育館、プール付属室、物置小屋		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎 (特別教室棟)	16	8	10	16	2	52
校舎 (特別教室棟以外)	20	24	10	4	2	60
体育館	20	24	10	4	2	60
プール付属室	4	8	6	4	2	24
物置小屋	20	8	10	4	2	44

(2) 供給面 (生徒数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
420	381	337	261

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
19,537	19,473	18,000	19,003

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
6	6	6	6

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	大規模改修	管理方法	直営
<p><b>【施設の状況及び課題】</b>            築 30 年以上経過しており、建物性能は低い状況にあります。また、放送設備の不具合により緊急時に放送不能となる危険性や、自転車小屋の支柱の劣化から倒壊の危険性があるなど、大規模改修や修繕が必要となっています。指定避難所及び指定緊急避難場所に指定されています。</p>					
<p><b>【基本的な方針の考え方】</b>            老朽化が相当進んでいるため、屋根、外壁、内壁、内部床等のほか、給排水、暖房等の設備、トイレの洋式化について大規模改修による機能回復に努めます。</p>					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	五所川原第四中学校	総延床面積 (㎡)	4,816.00
所在地	五所川原市大字沖飯詰字男鹿 223 番地 2	代表建築年 (年)	1983
構成施設	校舎、体育館、プール付属室、物置小屋		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	16	10	16	2	64
体育館	20	8	8	16	2	54
プール付属室	20	8	6	4	2	40
物置小屋	20	24	8	4	2	58

(2) 供給面 (生徒数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
103	93	72	71

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
16,943	14,705	12,945	14,865

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
10	10	10	10

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
<p><b>【施設の状況及び課題】</b> 2012 年度 (平成 24 年度) に大規模改修を実施したため建物性能は高く老朽化はそれほど進んでいません。ただし、グラウンドは水はけが悪いため、授業等の活動に大きな影響を及ぼしています。指定避難所及び指定緊急避難場所に指定されています。</p> <p><b>【基本的な方針の考え方】</b> トイレの洋式など個別の課題について優先度を勘案しながら適宜対応し、現状維持に努めます。</p>					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	金木中学校	総延床面積 (㎡)	5,971.00
所在地	五所川原市金木町芦野 200 番地 1084	代表建築年 (年)	1986
構成施設	校舎、体育館、柔剣道場、物置小屋		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	20	24	8	16	2	70
体育館	20	8	8	16	2	54
柔剣道場	20	8	6	4	2	40
物置小屋	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (生徒数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
224	205	187	140

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
15,993	21,380	18,221	18,531

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
31	31	31	31

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
<p><b>【施設の状況及び課題】</b> 金木地区にある唯一の中学校であることから、長期存続を目的に、2014 年度 (平成 26 年度) に内部、外部、体育館の一部照明等の改修を実施しているため、建物性能は高い状況にあります。指定避難所及び指定緊急避難場所に指定されています。</p> <p><b>【基本的な方針の考え方】</b> トイレの洋式化など個別の課題については優先度を勘案しながら適宜対応し、現状維持に努めます。</p>					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	市浦中学校	総延床面積 (㎡)	3,824.00
所在地	五所川原市相内岩井 81 番地 136	代表建築年 (年)	1970
構成施設	校舎、体育館、給食室		
施設の目的	子供たち個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基本的な資質を養うことを目的とする義務教育を受ける場所を提供するため。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
校舎	16	8	10	16	2	52
体育館	16	8	10	16	2	52
給食室	4	8	6	4	2	24

(2) 供給面 (生徒数: 各年度 5 月 1 日現在) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
47	47	47	27

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
10,665	11,046	12,588	11,433

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
0	0	0	0

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	直営
<p><b>【施設の状況及び課題】</b></p> <p>市浦地区にある唯一の中学校であることから、長期存続を目的として屋根と外壁の大規模改修を実施しています。それ以外の部分の劣化が著しく、特に窓のサッシの劣化による雨漏り、一部教室では床が盛り上がり歪みができるなど不具合が発生しており、一部改修や修繕が必要となっています。指定避難所及び指定緊急避難場所に指定されています。</p> <p><b>【基本的な方針の考え方】</b></p> <p>トイレの洋式化など個別の課題について優先度を勘案しながら適宜対応し、現状維持に努めます。</p>					



所管課	学校給食センター
-----	----------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	学校給食センター	総延床面積 (㎡)	4,306.00
所在地	五所川原市大字金山字竹崎 203 番地 1	代表建築年 (年)	2016
構成施設	調理室・事務室・会議室・休憩室・対応食調理室		
施設の目的	成長期にある児童生徒に、安心安全で栄養バランスのとれた食事を提供する。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
調理室・事務室・会議室・ 休憩室・対応食調理室	20	40	8	20	10	98

(2) 供給面 (1 日あたりの給食提供数) (単位: 食)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
3,783	3,656	3,928	2,671

※旧給食センター分は 2015 年度及び 2016 年度 1 学期分まで。教職員及び給食センター職員分も含む。

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
74,684	145,802	169,612	135,690

※2015 年度は旧給食センター分。2016 年度は新給食センターと旧給食センター分。

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
83	104	132	57

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	直営
【施設の状況及び課題】 建築後の経過年数が浅いため建物性能が高く、構造上は問題ありません。					
【基本的な方針の考え方】 安心安全を意識しながら管理し、現状維持に努めます。					

所管課	高等看護学院
-----	--------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	高等看護学院	総延床面積 (㎡)	2,554.25
所在地	五所川原市字新町 58 番地 2	代表建築年 (年)	1991
構成施設	高等看護学院		
施設の目的	保健師助産師看護師法第 21 条第 2 項に規定する看護師の養成機関として、必要な基礎的知識及び技術を習得させ、社会に貢献する人材を養成することを目的とする。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
高等看護学院	20	24	10	4	6	64

(2) 供給面 (生徒数: 各年度 4 月 1 日現在) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
99	104	89	81

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
14,855	14,710	15,470	15,012

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
10,299	10,816	9,344	10,153

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	直営
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>西北五圏域においては、唯一の夜間定時制学校として重要な位置付けとなっています。</p> <p>耐用年数には至らないものの、築後 30 年近く経過しているため、設備関係 (特に冷暖房・空調) では、部分的に毎年修繕を行なっている状況です。いずれは設備の大規模修繕が必要です。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>長期的に継続して利用する高等看護学院の建物については、劣化が進行する前に点検、診断等を行い、老朽化を最小限度に留める維持管理を図り、ランニングコストを縮減していきます。</p>					

所管課	管財課
-----	-----

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	旧金木高等学校市浦分校	総延床面積 (㎡)	1,713.00
所在地	五所川原市磯松赤川3番地42	代表建築年 (年)	1972
構成施設	旧校舎、旧プール付属室		
施設の目的	廃校となった高等学校		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は100点満点 (表1参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
旧校舎	4	8	10	4	2	28
旧プール付属室	4	8	8	4	2	26

(2) 供給面 (生徒数: 各年度5月1日現在) (単位: 人)

過去3か年			将来推計
2015年度	2016年度	2017年度	2029年度
19	14	9	—

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去3か年			将来推計
2015年度	2016年度	2017年度	2029年度
4,476	4,358	3,968	—

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去3か年			将来推計
2015年度	2016年度	2017年度	2029年度
0	0	0	—

## 3. 基本的な方針

方向性	廃止	行動計画	除却	管理方法	—
【施設の状況及び課題】 2019年度 (令和元年度) に耐用年数を迎えた旧耐震基準の建物です。					
【基本的な方針の考え方】 旧耐震基準の建物で、転用等は実施できないことから、建物を除却します。					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	旧嘉瀬小学校	総延床面積 (㎡)	3,403.00
所在地	五所川原市金木町嘉瀬端山崎269番地	代表建築年 (年)	1972
構成施設	旧校舎、旧体育館、旧プール付属室、旧物置小屋		
施設の目的	廃校となった小学校を保存年限が経過していない文書等の保管倉庫として利用している。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は100点満点 (表1参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
旧校舎	16	8	10	4	2	40
旧体育館	16	8	8	4	2	38
旧プール付属室	4	8	6	4	2	24
旧物置小屋	4	8	6	4	2	24

(2) 供給面 (利用団体数: 各年度4月1日現在) (単位: 団体)

過去3か年			将来推計 (10年後)
2015年度	2016年度	2017年度	2027年度
2	2	2	2

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去3か年			将来推計 (10年後)
2015年度	2016年度	2017年度	2027年度
279	223	274	258

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去3か年			将来推計 (10年後)
2015年度	2016年度	2017年度	2027年度
0	0	0	0

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	直営
<b>【施設の状況及び課題】</b> 2014年度 (平成26年度) 末で廃校となったことから普通財産になりましたが、継続して教育委員会が管理しており、旧体育館を学校開放事業の一環で一般に開放しています。また、旧校舎の教室では書類を保管しており、その他空きスペースは備品等の倉庫として活用しています。					
<b>【基本的な方針の考え方】</b> 耐震基準を満たしているため、旧体育館については学校開放事業の一環で活用していきませんが、教室等については原則として、当市が管理する書類等を保管する倉庫としてのみの活用となります。					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	旧東小学校	総延床面積 (㎡)	1,693.00
所在地	五所川原市大字高野字広野228番地2	代表建築年 (年)	1970
構成施設	旧校舎、旧体育館、旧プール付属室、旧物置小屋		
施設の目的	廃校となった小学校を保存年限が経過していない文書等の保管倉庫として利用している。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は100点満点 (表1参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
旧校舎	4	8	10	4	2	28
旧体育館	4	8	8	4	2	26
旧プール付属室	4	8	6	4	2	24
旧物置小屋	4	8	6	4	2	24

(2) 供給面 (利用数: 各年度4月1日現在) (単位: 人)

過去3か年			将来推計 (10年後)
2015年度	2016年度	2017年度	2027年度
0	0	0	0

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去3か年			将来推計 (10年後)
2015年度	2016年度	2017年度	2027年度
0	0	0	0

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去3か年			将来推計 (10年後)
2015年度	2016年度	2017年度	2027年度
0	0	0	0

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	直営
<b>【施設の状況及び課題】</b> 2009年度 (平成21年度) 末で廃校となったことから普通財産になりましたが、継続して教育委員会が管理しており、教室等では書類や備品等の倉庫として活用しています。					
<b>【基本的な方針の考え方】</b> 学校全体として耐震基準を満たしていないことから、教室等については原則として、当市が管理する文書等を保管する倉庫としてのみの活用となります。					

所管課	教育総務課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	旧五所川原第二中学校	総延床面積 (㎡)	4,039.00
所在地	五所川原市大字豊成字田子ノ浦70番地1	代表建築年 (年)	1973
構成施設	旧校舎、旧体育館、旧プール付属室、旧物置小屋		
施設の目的	廃校となった小学校を保存年限が経過していない文書等の保管倉庫として利用している。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は100点満点 (表1参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
旧校舎	4	8	10	4	2	28
旧体育館	4	8	10	4	2	28
旧プール付属室	4	8	6	4	2	24
旧物置小屋	4	8	6	4	2	24

(2) 供給面 (利用数: 各年度4月1日現在) (単位: 人)

過去3か年			将来推計 (10年後)
2015年度	2016年度	2017年度	2027年度
0	0	0	0

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去3か年			将来推計 (10年後)
2015年度	2016年度	2017年度	2027年度
0	0	0	0

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去3か年			将来推計 (10年後)
2015年度	2016年度	2017年度	2027年度
0	0	0	0

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	直営
<b>【施設の状況及び課題】</b> 2011年(平成23年)8月で廃校となったことから普通財産になりましたが、継続して教育委員会が管理しており、教室等では書類や備品等の倉庫として活用しています。					
<b>【基本的な方針の考え方】</b> 学校全体として耐震基準を満たしていないことから、教室等については原則として、当市が管理する文書等を保管する倉庫としてのみの活用となります。					

【表1】建物性能

評価基準に重みを掛けたものを建物性能とします。

評価基準		重み
①耐震性能	5点：新耐震基準（建築年が1981年（昭和56年）以降） 4点：旧耐震基準であるが耐震性有（Is値0.72以上） 3点：旧耐震基準であるが耐震性有（Is値0.6以上） 2点：旧耐震基準であるが今後耐震改修の計画有り 1点：旧耐震基準（建築年が昭和56年前）	×4
②老朽化状況	法定耐用年数に対する建築経過年数の割合を以下の区分で評価。 5点：0～25%未満 4点：25～50%未満 3点：50～75%未満 2点：75～100%未満 1点：100%以上	×8
③主体構造	5点：主体構造が鉄骨鉄筋コンクリート、鉄筋コンクリート、プレキャストコンクリート等 4点：主体構造が鉄骨造、軽量鉄骨造など 3点：主体構造が木造、コンクリートブロックなど	×2
④大規模改修状況	5点：建築後10年以内の建物（大規模改修が不要） 4点：建物本体の改修を実施 3点：設備の改修を実施 2点：未実施だが、改修計画有り 1点：未実施	×4
⑤福祉性能	エレベーター、多目的トイレ、車いす用スロープ、自動ドア、手すり、点字ブロックの6項目のうち、対応している項目数に応じて評価。 5点：4項目以上対応済 4点：3項目対応済 3点：2項目対応済 2点：1項目対応済 1点：未対応	×2